

R

interaction.plot() 交互作用の図を描く

- ・パッケージなしで標準で組み込まれている。

使い方

- ・モデル式ではなく、もとのデータフレームから、計算して図を描く

基本はこの三つ

- ・ x.factor= データ \$ 横軸に並べる要因
- ・ trace.factor= データ \$ 図を描く要因
- ・ response= データ \$ 縦軸に並べる応答変数